

■「クラウド型仮想デスクトップ環境提供業務」仕様書に関する問い合わせへの回答
仕様書に対して、問い合わせがあった内容について以下のとおり回答します。

令和5年(2023年)3月17日
札幌市デジタル戦略推進局情報システム部

項番	質問	回答
1	本業務実施期間中の利用者は最大何名程度となる想定でしょうか。	環境リリースから本業務期間終了までの最大利用者は、仕様書5(1)ア(ア)及び同(イ)のとおり14,000名を想定しています。
2	仮想デスクトップの1台あたりの利用者数、リソース量等、仮想デスクトップの詳細な構成は本業務の設計工程で決定するものと認識しております。仮に、後続のテスト工程にて、実際の利用者環境に近い形で確認をした結果、アプリ動作遅延が発生し、1台あたりの利用者数等の調整が必要になった場合、Azure環境の追加調達も想定される対応策として考えられますでしょうか。	仕様書で定める内容に対して不足となる部分がないように考慮して、計画及び実行いただくことが基本的な考え方です。その上で、当初想定し得ない状況への対処が必要になった場合、仕様書9(8)のとおり本市と受託者として協議の上、必要な対応を行う想定です。
3	仮想デスクトップへのログインに際して、既設AD、AADとの連携を行います。インターネットAD、AAD側の設定は、本業務に含まれない認識で正しいでしょうか。	ご認識のとおりです。ただし、本業務として各ADに対する設定変更が必要な場合の設定項目・内容の提示は、仕様書4(1)のとおり本業務に含まれます。
4	本業務では、受託者にて以下に示される各種既存アプリケーションの動作を確認する作業が含まれる認識で正しいでしょうか。 (ク)Webブラウザを使用したWebアプリやシステム等の利用、(コ)各種Web会議の利用、(サ)各種Microsoft 365アプリ、Officeの利用 もしくは各アプリケーションの動作確認は貴市にて実施いただき、受託者はPCの一般操作確認までとするなどの分担想定がありましたらご提示いただけますようお願いいたします。	ご認識のとおりで、受託者にて各種既存アプリケーションの基本的な動作確認を行っていただく想定です。
5	本業務では、受託者にて以下に示される新たに調達されるシステム、アプリケーションの要件に応じた仮想デスクトップ環境の設計、設定、該当アプリケーションのインストール対応までであり、システム、アプリケーション動作を確認する作業は含まれない認識で正しいでしょうか。 (ノ)データ交換システム、(タ)EDR製品、(チ)市が指定するアプリケーション、プラグイン等	該当アプリケーションのすべての機能の動作保証までしていただく必要はありませんが、起動確認や基本的な動作確認の作業は本業務に含まれます。
6	仮想デスクトップの管理サーバについて、OSレイヤ以上のPC管理サーバは流用できる前提で良いでしょうか。流用可能な環境に関して、ご提示いただけますようお願いいたします。 ・既設のセキュリティ更新(WSUS)、ウイルス対策、アプリ配信環境など	本業務の対象となる仮想デスクトップ環境は、本市が新たに運用するインターネット系のネットワーク上のもので構築し、基本的にインターネット等既設のネットワークとは分離されています。「流用」が既設のネットワーク上の既設PC管理サーバに接続し、その機能を仮想デスクトップ環境でも利用することを指しているのであれば、流用可能なリソースはありません。